



交番こうばんはなぜ交番こうばんというの

交番所こうばんじょという名称めいしょうから交番こうばんというようになった

1874（明治7）年に、東京警視庁に「交番所」が設けられました。そのころは、警察官が警察署から決められた場所に出向いて、そこで交代で立ち番をする形をとっていました。「交番所」という名称は、「交代で番をする所」ということです。

この交番所は、その後、建物を建て、そこで仕事をする現在の形に変わりました。1888（明治21）年に「派出所」「駐在所」という名称で統一されましたが、「交番所」という名称は、そのまま「交番」というよび名で、残っているのです。

都市の要所要所に設けられた警官のつめ所は、かつて、巡査派出所ともいいましたが、1994（平成6）年の警察法の改正により、すべて「交番」とよばれるようになりました。町の交番をみると、アルファベットで、KOBANと書いた札がでています。

交番こうばんと駐在所ちゅうざいじょ

交番や駐在所は、わたしたちの身近なところにあり、そこにおまわりさんが勤務していて、わたしたちの暮らしの安全を守る活動をする所になっています。

交番は、おもに都市部におかれ、おまわりさんが交替で人々の生活の安全を守る活動を行っています。

一方、駐在所は、原則として、一人のおまわりさんが自分の家族とともに、村や町などの地域に住み、地域の安全を守る活動を行っています。

交番と駐在所は、全国に約1万5000か所あります。（監修・田代 脩）

